

食用油再生器「油電節®」仕様

商品名	油電節® (MPY-023-1)	全体重量	15kg
名称	食用油再生器	油溜容量	23ℓ
再生方式	重力方式※	全体外寸	間口35.4cm×奥行58cm×高さ66cm

MADE IN JAPAN

※「重力方式」...自然落下方式の他社製品よりも短時間かつ少量の再生剤で効率よく再生できる方式を表す文言です。

食用油再生器「油電節®」各部品仕様

部品名	品番	材質	サイズ (cm)	重量 (g)	備考
ハンドル	A-001-1	ステンレス (SUS304)	3×12×9	100	
ハンドルシャフト	A-001-2	ステンレス (SUS304)	φ4×6.5	80	
プロペラ	A-001-3	ステンレス (SUS304)	r9×6	160	
カス取りパット	A-001-4	ステンレス (SUS304)	21×21×15	990	取っ手付き
油溜容器用上蓋	B-001-1	ステンレス (SUS304)	58×26	940	取っ手付き
油溜容器	C-001-1	ステンレス (SUS304)	58×26×28.5	5,900	取っ手付き・ドレン用バルブ付き・オイル缶兼用
目皿器	D-001-1	ステンレス (SUS304)	50×25×14	1,100	取っ手付き・折り畳み式
支持台	E-001-1	ステンレス (SUS304)	50×35×7	4,550	支持足収納用キャッチャー付き
支持足	E-001-2	ステンレス (SUS304)	φ3×31	350 (1本)	4本組・取付ネジ付き
回収用ポット	F-001-1	ステンレス (SUS304)	28×28×27	2,070	取っ手付き・蓋付き・別梱包

保証規定

- 保証期間は、お買い上げ後1年です。
- 保証期間内に取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状態で破損した場合には、無償で修理致します。
- ご使用中不具合が発生した場合は、お買い上げの代理店、または弊社までお問合せ下さい。
無償修理を受ける場合は保証書をご提示下さい。
- 保証期間内であっても、次の場合は有償となります。
 - ◆保証書の提示が無い場合、及びお客様名、お買い上げ日、代理店名の記入が無い場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - ◆使用上の誤り及び不当な分解、修理、改造、再調整などによる損傷。
 - ◆お買い上げ後の輸送、落下などによる損傷。
 - ◆使用中に生じた傷、汚れなどの外観上の変化。
 - ◆破損の原因が本製品以外に起因する場合。
 - ◆上記以外で弊社の責に帰することのできない原因により発生した不具合。
- 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。

※本保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。
従って、本保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

製造販売元

Mcons 株式会社エムコンス

〒113-0022
東京都文京区千駄木2-32-3 佐久間ビル4F
https://www.m-cons.jp/



取扱説明書

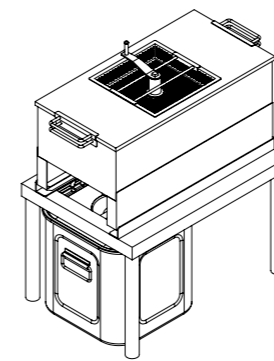
- 安全に正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
- ご使用前に、必ず本書の内容をご確認の上、正しくお使いください。
- 本書は保証書を兼ねていますので、紛失しないよう大切に保管して下さい。

HYGIENE

食用油再生器

油電節®

Model : MPY-023-1



特長

使用済み食用油を再生

繰り返し使用することで、油のコストを削減。

電気不要

電気代の節約だけでなく、環境に優しい。

短時間で再生、回収可能

忙しい合間に効率よく使用でき、継続しやすい。

少量の再生剤で十分な効果

使用後のお手入れもらくらく。

安全上のご注意

必ずお守りください

本製品を安全にご使用いただくため、ご使用前に本項目「安全上のご注意」をよくお読みになり、十分にご理解いただいたうえで、ご使用を開始してください。



注意 この表示の欄は、「誤った取り扱いをすると損害を負う可能性、または物的損害のみの発生が想定される場合」を示しています。



このような表示は、強制 (必ず守ることを) を示します。



このような表示は、禁止 (してはいけないことを) を示します。



注意

素手でのご使用はしないで下さい。
やけどなど怪我の原因になりますので、ご使用の際は軍手などをはめて下さい。
禁止

乳幼児の手の届かないところに保管して下さい。
怪我や破損の原因となります。
強制

マスクを着用してご使用下さい。
粉塵などを吸い込む恐れがあります。
強制

傾斜・振動・重圧・衝撃のあるところには保管しないで下さい。
怪我や破損の原因となります。
禁止

使用後水洗いした場合は、必ず乾いた布で水分を拭き取って下さい。
水分が残っていると、油がはねてやけどの恐れがあります。
強制

使用中は、フライヤーや本器のバルブを勢よく開かないで下さい。
やけどの恐れがあります。
禁止

本器の容量(23ℓ)を超える油でのご使用はしないで下さい。
油が溢れて、やけどの恐れがあります。
禁止

油の再生後、使用済み専用フィルターと専用再生剤の温度が十分冷めてから、廃棄作業を行って下さい。
やけどや発火の恐れがあります。
強制

製品及び修理に関するお問合せ

株式会社エムコンス

TEL 03-5832-6682
FAX 03-5832-6685
E-mail corp@m-cons.jp
受付時間：平日9:00～18:00
(土・日・祝日・夏季休暇・年末年始を除く)

こちらからも
お問合せいただけます



保証書

このたびは、本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本書は、お買い上げ日から下記期間中に不具合が生じた場合、左記の保証規定により無償修理を行うことをお約束するものです。本保証書は再発行致しませんので、大切に保管して下さい。

商品名	油電節® (MPY-023-1)
製造ロット№	
保証期間	お買い上げから1年
お買い上げ日	年 月 日
ご芳名	
ご住所	〒
電話番号	()

※以下につきましては、代理店様にて記入捺印を受けて下さい。
代理店名・住所・電話番号

各部品名称

ハンドル	ハンドルシャフト	プロペラ	カス取りバット	油溜容器用上蓋
油溜容器	目皿器	支持台	支持足	回収用ポット

ご使用方法

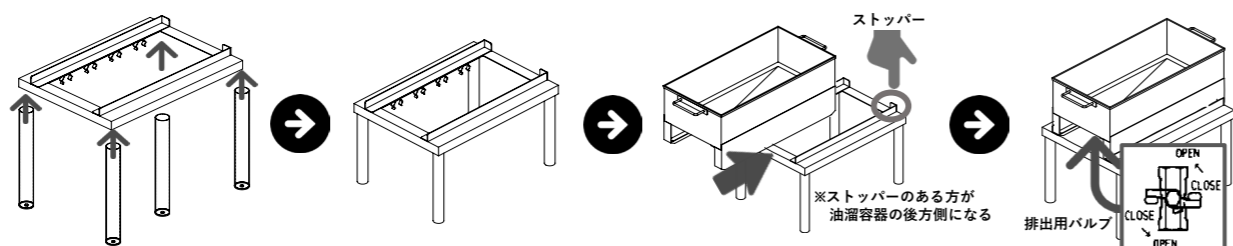
(軍手とマスクを着用してからご使用下さい。)

動画で見る



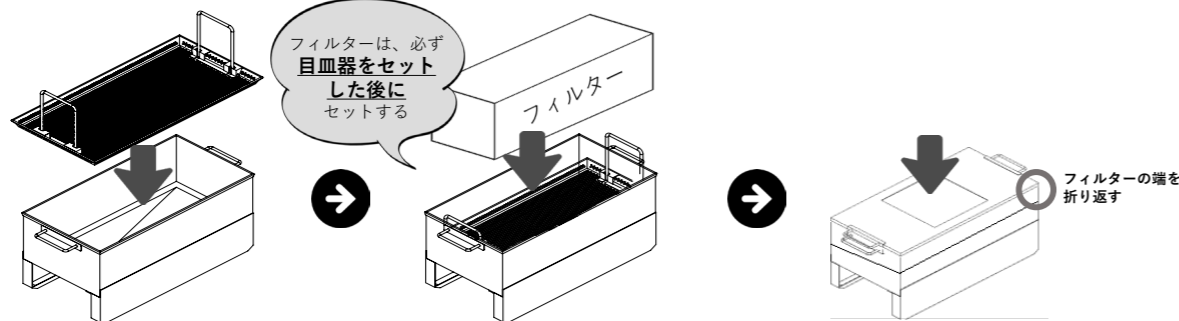
1

支持台裏側のキャッチャーから支持足を4本すべて外し、支持台の4隅のネジに1本ずつ取り付けます。支持台の上に油溜容器を載せ、ストッパーで止まるまで奥までしっかりスライドさせます。(※支持台後部にストッパーがあります) 油溜容器前方に排出用バルブが付いているので、必ず閉まっていること(水平状態)を確認して下さい。



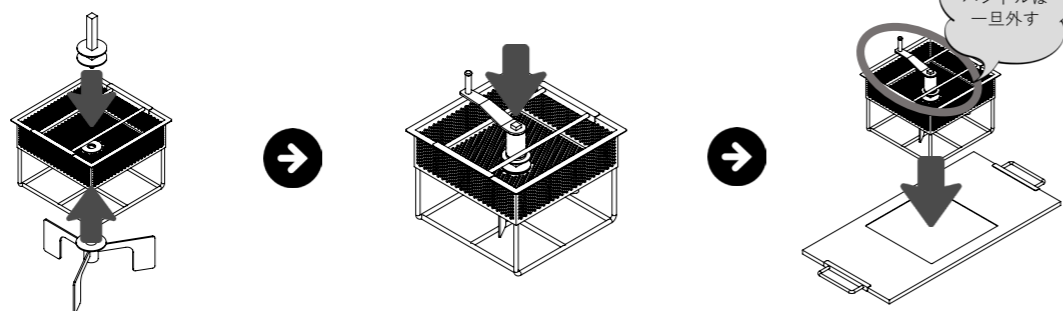
2

目皿器の両側に畳んである取っ手を立ち上げ、油溜容器の中へ入れます。その後専用フィルターを被せて、フィルターの端を外側へ折り返したら、上蓋を載せます。



3

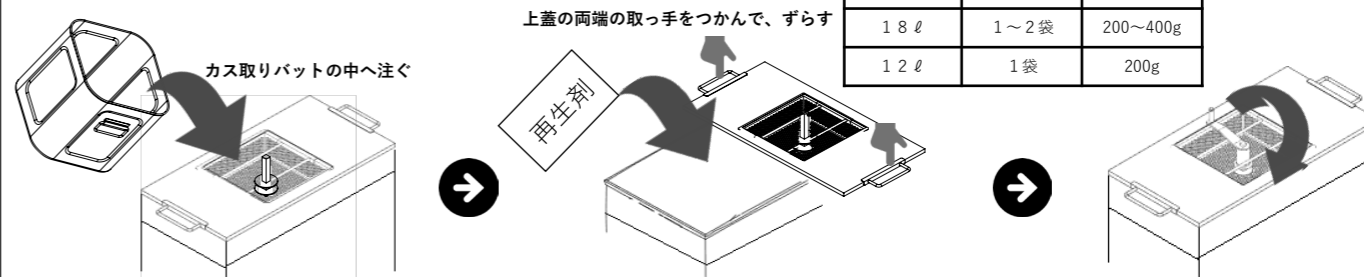
カス取りバット中央の穴に、ハンドルシャフトを上から差し、穴から下へ飛び出したハンドルシャフトの先をプロペラと合わせます。ハンドルシャフトを回して、プロペラを接合させたら、上からハンドルをはめてしっかり回し締めます。(※締め終わったら、ハンドルはいったん外し、後でもう一度使用します。) 組み立てたカス取りバットを上蓋の中央へはめ込みます。



4

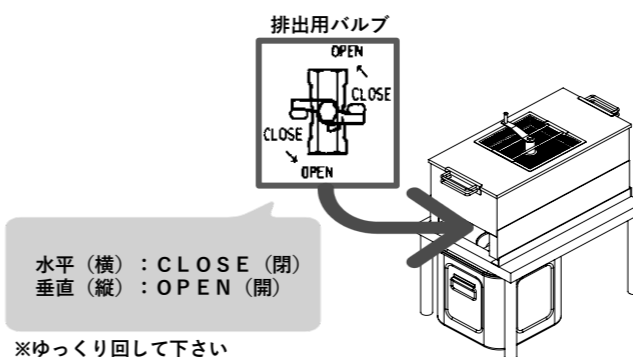
フライヤーの下に回収用ポットを置き、使用済み食用油(適正温度:80℃~180℃)を回収し、カス取りバットの中へゆっくり注いだら、上蓋をずらして専用再生剤を油溜容器の中へ投入します。上蓋をリセットし、ハンドルをハンドルシャフトにセットして時計回りにゆっくり回します。約2分間回し続け、回し終わったら20分以上放置させます。

油量	再生剤使用量の目安		※油量に応じて調整
	袋目安	重量	
2.3ℓ	2~3袋	400~600g	
1.8ℓ	1~2袋	200~400g	
1.2ℓ	1袋	200g	



5

油溜容器下部のバルブの位置に合わせて回収用ポットを置きます。バルブのハンドルを縦にすると、容器内の再生済み食用油が落ちてきます。



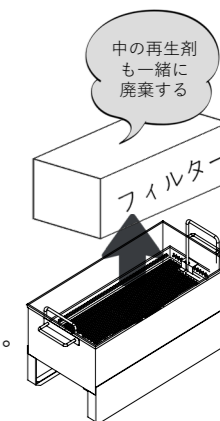
水平(横): CLOSE (閉)
垂直(縦): OPEN (開)

※ゆっくり回して下さい

回収後は

●回収後は、油量が減少しています。(2.0ℓの場合、およそ2ℓ減少) そのため、再利用する際は新しい油を継ぎ足してからご使用頂くことをおすすめします。

●油溜容器内の温度が十分下がったら、専用フィルターと中の再生剤は可燃ごみとして、カス取りバットに溜まった揚げカス等の食品ごみを自治体の条例に従って廃棄して下さい。



お手入れ・保管方法

毎回

乾いた布で各部品を拭いて下さい。

●硬い布で強く拭いたりこすったりすると、表面が傷つく可能性があります。

油汚れが気になる時

中性洗剤を含ませたスポンジで各部品を水洗いした後、乾いた布で水分を拭き取って下さい。

●お手入れ後は、石鹸で手をよく洗い、付着した再生剤を洗い流して下さい。

保管について

傾斜・振動・重圧・衝撃のないところ、乳幼児の手の届かないところに保管して下さい。

●支持足は、支持台裏側に付いているキャッチャーに留めると、コンパクトに収納することができます。

困ったときは

再生後の油を回収したら、再生剤が混入していました。

→目皿器と専用フィルターのセット順が誤っている可能性があります。専用フィルターを先にセットしてしまうと、後からセットした目皿器に圧迫されてフィルターに穴が開く原因となります。詳しくは、ご使用方法「2」をご確認ください。

油の再生効果あまり見られないのですが、再生効果を上げるにはどうすれば良いですか？

→再生前の油の温度は80~180℃の状態、投入する再生剤の量は油量に合わせて調整して下さい。また、ハンドルで攪拌した後は必ず20分以上放置させてから油を回収して下さい。詳しくは、ご使用方法「4」をご確認ください。

再生油の回収後、中のフィルターをすぐ捨てようとしたら熱くて捨てられませんでした。

→放置時間によっては、油溜容器がまだ冷めきっていないこともありますので、必ず十分に冷めてから廃棄して下さい。